

伊豆沼・内沼40年の歩み

(1) ラムサール条約湿地登録からの経過概要 ※太字は記念行事に関わるもの

昭和 60（1985）年	・伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地に登録 ・ラムサール条約湿地登録記念祝賀行事 ・ラムサール条約湿地登録記念誌の発行
昭和 63（1988）年	・財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団設立
平成 3（1991）年	・宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター開館（H3.1.6）
平成 4（1992）年	・迫町サンクチュアリセンター淡水魚館完成
平成 5（1993）年	・「伊豆沼・内沼環境保全対策推進協議会」設置（～H14 廃止） ・「伊豆沼・内沼環境保全対策基本計画」策定 ・築館町サンクチュアリセンター昆虫館完成・開館
平成 14（2002）年	・「伊豆沼・内沼環境保全対策推進委員会」設置（～H20 廃止）
平成 16（2004）年	・バスバスターズ結成
平成 20（2008）年	・「伊豆沼・内沼自然再生協議会」設置
平成 21（2009）年	・「伊豆沼・内沼自然再生事業全体構想」策定
平成 26（2014）年	・東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップに参加
平成 27（2015）年	・ラムサール条約湿地登録三十周年記念「伊豆沼・内沼感謝祭」開催
令和 2年（2020）年	・伊豆沼・内沼自然再生事業全体構想（第2期）策定

(2) 伊豆沼・内沼自然再生事業全体構想の目指す姿

<キャッチフレーズ>

ひと・みず・いきものが織りなす輝く未来へ

（人々に愛され親しまれるとともに、様々な生物が生息していた頃の伊豆沼・内沼へ再生しようという思いを表したもの。）

(3) 40周年事業について

令和7年は伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地の登録40年の節目として、これまでの伊豆沼・内沼の取組を振り返り、将来（10年後は50周年）にわたって豊かな自然ある伊豆沼・内沼を継承するため、関係者間で連携しながら、各イベント・企画を実施する。

伊豆沼・内沼ラムサール条約湿地登録40周年記念事業全体構想

一般（大人・子供）向け

（伊豆沼・内沼の魅力、自然の大切さの発信、行動変容を促す）

＜既存イベントとの連携・拡充＞

○ハス祭り等 既存イベントとの連携

（3館及び地域関係者との連携なども）

○ボランティア活動の拡充

（バス・バスターズ、クリーンキャンペーン等）

○自然体験講座

○写真展

→過去の写真の収集とこれまでの伊豆沼あゆみの振り返り

＜新規イベント・企画等＞

○シンポジウムの開催

・ラムサール条約についての基調講演

・伊豆沼で採れた産物を使った記念品（ヒシなど）の作成（ワークショップ）

・サンクチュアリセンター連携（巡回ツアー等）

・ガン・ハクチョウ類の観察会

○県庁ロビー等での普及啓発（ポスター・写真展示）

専門家等向け

（自然再生の取組の協働）

○「保全活動のあゆみ」（研究成果の取りまとめ）作成の検討

○研究フィールドの提供

→これらの取組を様々な手段でPR（裏面）

企業向け

（自然再生事業、ワイズユースへの永続的な取り組み支援等）

○民間企業と連携した事業の実施（R8以降も継続）

・環境教育の実施に係る連携、CSR活動への支援

・企業からのオーダーに対応したメニューの開発

・幅広い年代を対象とした環境教育の実施

○事業による副産物の2次利用への取組（ハス・ヒシ・ヨシ）

40周年記念事業に係る全体PRの方針について

<PR方法>

- 新規イベント+冠イベント（地域事業連携） ※全体事業としてPR
- 各種取組でのPR（スワンプロジェクト、自然共生サイト登録、友の会事業、サンク館内企画展）
- 記念グッズの作成
- パンフレット作製・配布（財団：水生植物園案内パンフの制作、県：「みやぎの世界湿地」パンフレット増刷等）

<広報手段について>

- ★宮城県・2市の広報紙への掲載・HP
 - 県庁ロビーでの普及啓発・パネル・写真展示
 - メディアへの記事掲載依頼
 - 他地域のイベントでのパネル展示等（想定：大阪万博、大崎市ラムサール20周年等）
- その他…各構成員で実施している周知・PR手段等はありませんか？

<広報準備状況等（宮城県分）>

- 冠化の可能な事業及び実施時期を、今後宮城県で集約したいと思います
→年明け1月以降、構成員宛てに照会を実施

県・2市の広報紙掲載へ

※具体的な広報時期により、内容（イベント開催時期や詳細については要調整）

- 「みやぎ県政だより」

→7月の特集枠確保に向けて現在調整中 内容イメージ… “ラムサール条約とは” “登録40周年の歩みと今後の展望について”

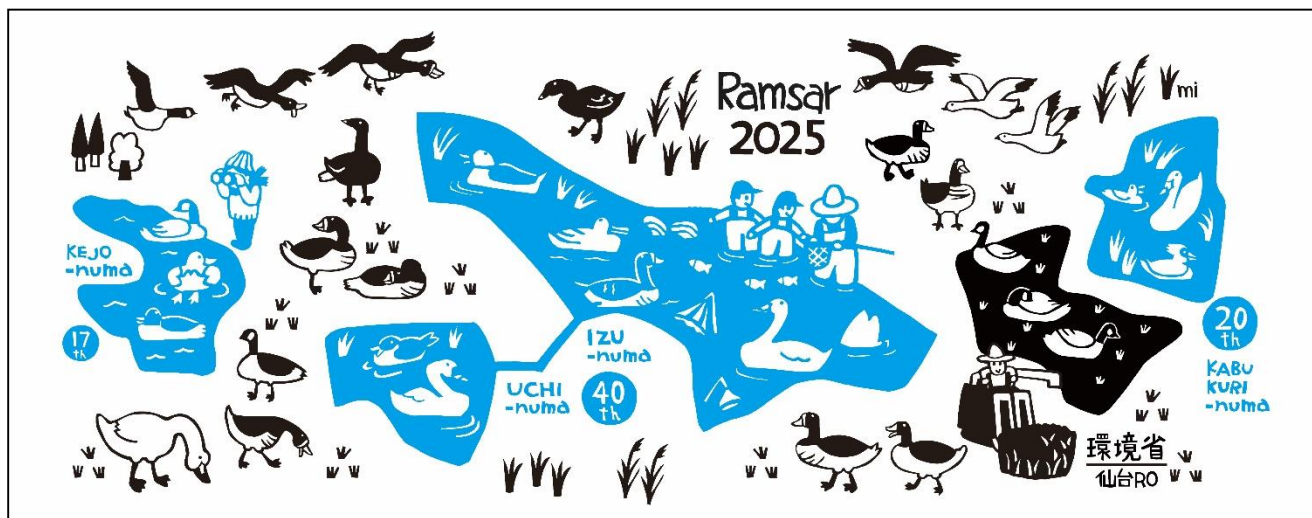
- 県庁ロビーでのパネル・写真展 5/19～23（生物多様性関係）、9/29～10/10（ラムサール条約湿地PR）、11/4～13（ラムサール写真展） 仮確保済み

※予約確保可能な期間が1年後の同日までのため、今後12月以降の確保も可能。

ラムサール条約湿地 登録周年記念手ぬぐい

作成：仙台自然保護官事務所

【手ぬぐいデザインのイメージ】



【手ぬぐい仕様】

- 本染め
- 色：グレー、赤茶
- 綿100%
- デザイン：アトリエ「み」
- 枚数：700枚

ラムサール条約湿地である
伊豆沼・内沼、蕪栗沼、化女沼
に携わる皆さまに向けて
日々の作業・活動等で
活用いただくよう配布予定